

韓国における口蹄疫の発生について

今般、農林水産省動物衛生課長から、本年1月11日に、韓国家畜衛生当局から、全羅北（チョルラブク）道 金堤（キムジェ）市の豚飼育農場において口蹄疫の疑い事例が確認された旨の発表があり、都道府県知事あて発生予防対策の徹底等を依頼した旨の通知を受け、本会会長から別記のとおり地方獣医師会会長あて通知した。なお、1月12日に、韓国当局は、同事例について、2015年4月以来約8カ月ぶりに口蹄疫の発生を確認したと追加発表した。

別記

27日獣発第305号
平成28年1月20日

地方獣医師会会長 各位

公益社団法人 日本獣医師会
会長 藏内 勇夫
(公印及び契印の押印は省略)

韓国における口蹄疫疑い事例の確認について

このことについて、平成28年1月12日付け27消安第5076号をもって、農林水産省消費・安全局動物衛生課長から別添1のとおり通知がありました。貴会関係者に周知方よろしくお願いいたします。

このたびの通知は、

- ①本年1月11日に、韓国家畜衛生当局から、全羅北（チョルラブク）道 金堤（キムジェ）市の豚飼育農場において口蹄疫の疑い事例が確認された旨の発表があったこと、
- ②さらに平成27年12月18日付け27日獣発第275号で通知した「平成27年度の年末・年始及び春節における口蹄疫等に関する防疫対策の強化について」に記載のとおり、これから春節（2月8日）を迎えるに当たり、これまで以上に人の往来や物流も盛んになり、我が国への口蹄疫ウイルスの侵入リスクが高まることから、

都道府県知事に対し、改めて発生予防対策及び万が一の発生時のまん延防止対策に万全を期すよう依頼するとともに、今般の事例を受け、動物検疫所に対して水際検疫のより一層の徹底を指示している旨通知したので、了知の上、円滑な防疫対策の実施について協力を依頼されたものです。

別添1

27消安第5076号
平成28年1月12日

公益社団法人 日本獣医師会会長 殿

農林水産省消費・安全局 動物衛生課長

韓国における口蹄疫疑い事例の確認について

このことについて、別添（2）のとおり都道府県畜産主務部長宛て通知いたしましたので、御了知の上、円滑な防疫対策の実施につき御協力方お願いいたします。

別添2

写

27消安第5076号
平成28年1月12日

都道府県畜産主務部長 殿

農林水産省消費・安全局 動物衛生課長

韓国における口蹄疫疑い事例の確認について

近年、韓国を含め中国、台湾等の東アジア地域においては、口蹄疫の発生が続発しておりますが、標記について、昨日、韓国家畜衛生当局から、全羅北（チョルラブク）道 金堤（キムジェ）市の豚飼育農場において口蹄疫の疑い事例が確認された旨の発表がありました（概要は参考情報参照）。（日中韓シンポジウム等において構築された二国間のチャンネルにより、韓国家畜衛生当局の担当官から直接当該職員に提供された情報によれば、O型による発生と確定したとのこと。）

また、これから春節（2月8日）を迎えるに当たり、これまで以上に人の往来や物流も盛んになり、我が国への口蹄疫ウイルスの侵入リスクは一段と高い状況になると考えられます。

つきましては、「平成 27 年度の年末・年始及び春節における口蹄疫等に関する防疫対策の強化について」（平成 27 年 12 月 11 日付け 27 消安第 4581 号農林水産省 消費・安全局長通知、以下「強化通知」という。）に基づき、口蹄疫の発生予防対策及び万が一の発生時のまん延防止対策に万全を期すよう改めてお願いいたします。

その際、特に、強化通知の記の 1 に基づき、本情報を家畜の所有者、関係機関、関係団体等に確実に迅速に周知いただいた上で、同通知の記の 5 に規定する早期通報の再徹底並びに記の 6 に規定する迅速かつ的確な初動対応の徹底及び連絡体制の再確認を実施いただきますようお願いいたします。

なお、今般の事例を受け、我が国への口蹄疫侵入防止のため、動物検疫所に対して、水際検疫のより一層の徹底を指示していることを申し添えます。

○ 2014 年以降の韓国における口蹄疫の流行（O 型）

- ・ 2014 年 7 月～8 月：3 件（豚 3 件）
慶尚北道（2 件）、慶尚南道（1 件）
- ・ 2014 年 12 月～2015 年 4 月：185 件（牛 5 件、豚 180 件）
忠清南道（70 件）、京畿道（56 件）、忠清北道（36 件）、江原道（11 件）、慶尚北道（8 件）、仁川広域市（2 件）、世宗特別自治市（2 件）

※最終発生日：2015 年 4 月 28 日
（忠清南道洪城郡 牛）

（参考情報）韓国農林畜産食品部公表情報

農林畜産食品部プレスリリース
2016 年 1 月 11 日 18 時 00 分付け

全羅北道金堤市の豚農場で口蹄疫（FMD）の 疑い事例申告

出典 URL：

http://www.maf.go.kr/list.jsp?&newsid=155447614§ion_id=b_sec_1&pageNo=1&year=2016&listcnt=10&board_kind=C&board_skin_id=C3&depth=1&division=B&group_id=3&menu_id=1125&reference=&parent_code=3&popup_yn=&tab_yn=N

（機械翻訳等に基づく仮訳）

1 月 11 日、農林畜産食品部は、全羅北道金堤市の豚繁殖農場（700 頭）で口蹄疫（FMD）の疑い事例が申告されたと明らかにした。

* 現在、農林畜産検疫本部で精密検査を実施しており、検査結果は 1 月 12 日中に判明する予定である。

農食品部は、疑い事例申告農家に初動防疫チームを投入して、人・家畜などの移動を制限するなど、緊急防疫措置を実施中であり、口蹄疫が確認された場合、修正された SOP に応じて必要な防疫措置をとることを明らかにした。

（その後の情報）

2016 年 2 月 17 日現在

韓国における口蹄疫の発生状況（2016 年 1 月以降）

